

2018年10月11日

株式会社 クボタ

ドラマ「下町ロケット」新シリーズの舞台は農業!
クボタがTBS日曜劇場「下町ロケット」に全面協力
～ドラマの中心となる農業機械を提供～

10月14日(日)から放送開始

株式会社 クボタ(本社:大阪市浪速区、代表取締役社長 木股 昌俊)は、10月14日(日)からTBSにて放送開始の新日曜劇場「下町ロケット」に農業機械を提供し、全面協力いたします。



「下町ロケット」は池井戸潤氏によるシリーズ累計 300 万部突破の大人気長編小説「下町ロケット」シリーズ(小学館刊)を原作とするテレビドラマです。2015年にドラマ化され、最終回の視聴率は22.3%を記録し、同年度に放送されたドラマの中で視聴率トップとなりました(ビデオリサーチ調べ・関東地区)。

前作から3年のときを経て放送される今作は、同シリーズの第3弾「下町ロケット ゴースト」と第4弾「下町ロケット ヤタガラス」を原作とし、舞台を宇宙から大地へ移します。前作でロケットエンジン用バルブシステムや人工心臓弁・ガウディの開発に成功した町工場「佃製作所」。しかし、ロケットエンジン用バルブシステムの

納入先である帝国重工の業績悪化、大口取引先の農機具メーカーからの取引削減通告で窮地に陥ります。

さらに、経理部長・殿村(立川談春)の父親が倒れ、殿村は300年続く農家である実家の畑仕事を手伝うことに。トラクターを運転する殿村をじっと見て、社長の佃航平(阿部寛)はあることに気づき、新たな夢が生まれるところから、今作のストーリーが展開されます。

その中で、当社は農業機械メーカーとして、「佃製作所」の新たな戦いの舞台となる農業機械を提供、また、シナリオ制作や機械操作などのドラマ演出への技術監修に参画し、リアリティのあるドラマ制作に協力してまいります。

■TBS・日曜劇場「下町ロケット」概要

・放送開始日:10月14日(日)

・放送日:毎週日曜 21:00~21:54 (初回 25分拡大SP)

・主演:阿部寛、土屋太鳳、竹内涼真、安田顕、イモトアヤコ、真矢ミキ、古舘伊知郎、尾上菊之助、立川談春、神田正輝、吉川晃司、杉良太郎

■株式会社 クボタ

1890(明治23)年の創業以来、水道用鉄管による近代水道の整備、農業機械による食料増産と省力化、環境施設による人類と環境の調和など、暮らしと社会に貢献するさまざまな製品を提供してきました。優れた製品・技術・サービスを通じて食料・水・環境分野の課題解決に挑戦し、地球と人の未来を支え続けてまいります。

【代表取締役社長】 木股 昌俊

【売上高】 17,515億円(2017年12月期・連結)

【従業員数】 39,410名(2017年12月期・連結)

【本社所在地】 大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号